



リリースノート

ソフトウェア 1.7 | 日付 2014 年 8 月 | 3725-69898-003/A

Polycom® RealPresence® Capture Server



Polycom RealPresence Capture Server の紹介

Polycom® RealPresence® Capture Server は、標準規格ベースのビデオ通話とテレプレゼンス通話に参加することができる録画とストリーミングのシステムです。システムは、互換性のある Web ブラウザを備えたデバイスによるライブでの閲覧のためにこれらの通話のビデオとコンテンツをライブストリーミングに変換したり、ビデオ会議システムおよび互換性のある Web ブラウザを備えたデバイス (タブレット、スマートフォン、PC、Mac、デスクトップなど) での再生のためにビデオオンデマンドのアーカイブに変換したりします。

バージョン 1.6 からは、RealPresence Capture Server で Appliance Edition と Virtual Edition の両方が提供されるようになりました。Virtual Edition は、通常、Polycom RealPresence Platform の一部として導入されますが、スタンドアロンのソリューションとして使用することも可能です。RealPresence Capture Server は、Polycom RealPresence Media Manager と統合された場合に、その効果が最大限に発揮されます。



メモ: Capture Server 1.7 と RealPresence Media Manager との統合には、RealPresence Media Manager v6.6 が必要です。

この場合、RealPresence Capture Server 1.7 では、システムに RealPresence Media Manager v6.6 がインストールされている必要があります。それ以前のバージョンの RealPresence Media Manager とはインターオペラビリティがありません。

本書では、RealPresence Capture Server の最新情報と以下の項目についてご説明します。

- [ソフトウェアバージョン履歴](#)
- [既知の問題](#)
- [インターオペラビリティ](#)
- [ポートの使用方法](#)
- [マルチユーザログインの容量](#)
- [サポートされているメディアプレーヤのプラグイン](#)
- [サポートされている外部メディアサーバ](#)
- [サポートされている Web ブラウザ](#)

RealPresence Capture Server の構成方法および使用方法の詳細については、「[RealPresence Capture Server User Manual](#)」から入手可能な製品ドキュメントをご参照ください。

ソフトウェアバージョン履歴

次表は、RealPresence Capture Server のバージョン履歴の一覧を示します。

ソフトウェアバージョン履歴

バージョン	リリース日	説明
1.7	2014年8月	いくつかの新機能を追加しました。
1.6.1	2014年4月	メンテナンスリリース
1.6	2014年3月	このリリースでは、Appliance Edition と Virtual Edition の両方を提供しています。これは、RealPresence Capture Server Virtual Edition の最初のリリースです。
1.0	2013年7月	これは、RealPresence Capture Server の最初のリリースです。

バージョン 1.7 の新機能

RealPresence Capture Server 1.7 には、以下の新しい機能が搭載されています。

- WMV でのライブストリーミング、トランスコーディング、ビデオオンデマンドをサポート
- クイックコードを使用したビデオエンドポイントからの再生をサポート（ダイヤルイン通話のみ）
- ユーザが録画とライブ通話の通話時間を制限できる機能をサポート（制限時間に達すると、録画を自動停止し、録画中のクライアントの接続を切断）
- MP4 ライブストリーミングと WMV ライブストリーミングのマルチキャストをサポート
- 高解像度 1080p でのライブストリーミングとアーカイブをサポート（この機能を有効にすると、容量が最大の 1080p 30fps に増加）
- その他の品質およびパフォーマンスに関する改善
- 2 地点録画をサポート
- ストリーミング機能を強化
- SIP を使用して会議にダイヤルインしており、RealPresence Collaboration Server システムで [レコーディングリンク] 機能が有効になっている場合に、録画セッション中に会議レイアウトを Capture Server から設定または変更することができる機能をサポート

バージョン 1.6,1 の新機能

RealPresence Capture Server 1.6.1 には、以下の新機能が搭載されています。

- DSP カードのない Capture Server Appliance Edition のサポートを追加
- Polycom RealPresence Media Manager とのインターオペラビリティの問題を解決
- その他の既知の問題を解決

バージョン 1.6 の新機能

RealPresence Capture Server 1.6 には、以下の新機能が搭載されています。

- 録画なしストリーミングのサポート。ライブストリーミングのみの実行が可能で、アーカイブは作成されません。
- タイムコードを使用してビデオ録画にウォーターマークを付加する機能をサポート
- Real Time Messaging Protocol (RTMP) を使用した AKAMAI サーバへの会議のストリーミングをサポート
- Capture Server のビューアポータルから Media Manager V6.6 以上 (またはサードパーティのポータル) のホームページに、ピジターをリダイレクトする機能をサポート。メモ: この機能は、RealPresence Media Manager V6.6 または別の外部ポータルを使用して、視聴者のユーザにライブストリーミングおよびオンデマンドストリームへのアクセスを提供する場合に大変便利です。
- Capture Server Virtual Edition のサポートを追加



メモ: ユーザまたはパートナーが **RealPresence Media Manager** をアップグレードすることはできません。

ユーザまたはパートナーが RealPresence Media Manager をアップグレードすることはできません。RealPresence Capture Server をバージョン 1.6 にアップグレードする前に RealPresence Media Manager をアップグレードするには、Polycom の代理店に見積価格についてお問い合わせください。

バージョン 1.6 では、Polycom ポータル (support.polycom.com) からライセンスキーを取得する必要があります。問題がある場合は、Polycom サポートまでお問い合わせください。

1.0 から 1.6 へのシステムアップグレードを行う前に、ネットワークの FTP サーバに MP4 と RAW のメディアファイルをバックアップし、移行機能を有効にして、後でこれらを復元する必要があります。移行に関する詳細は、『ユーザガイド』をご参照ください。

Capture Server Virtual Edition の設定要件

Capture Server Virtual Edition を設定するには、基本的なハードウェア構成を備えたサーバを用意して、NFS を設定する必要があります。

次表は、RealPresence Capture Server - Virtual Edition のハードウェア要件を示します。

ハードウェア要件は、オプションが異なると変わってくるため、パフォーマンスを上げるためにはハードウェアを変更する必要があることにご注意ください。詳細については、『Virtual Edition ユーザガイド』をご参照ください。

ハードウェア要件

同時録画ポート	6	12	18	40
ライブストリーミング	3	6	9	0
仮想コア	8+	12+	16+	8+
CPU	<ul style="list-style-type: none"> 2.67GHz (Intel® Xeon® CPU x5650 @ 2.67GHz 以上) CPU 2.90GHz (Intel Xeon CPU E5-2690 @ 2.90GHz 以上) CPU 	<ul style="list-style-type: none"> 2.67GHz (Intel® Xeon® CPU x5650 @ 2.67GHz 以上) CPU 2.90GHz (Intel Xeon CPU E5-2690 @ 2.90GHz 以上) CPU 	<ul style="list-style-type: none"> 2.67GHz (Intel® Xeon® CPU x5650 @ 2.67GHz 以上) CPU 2.90GHz (Intel Xeon CPU E5-2690 @ 2.90GHz 以上) CPU 	<ul style="list-style-type: none"> 2.67GHz (Intel® Xeon® CPU x5650 @ 2.67GHz 以上) CPU 2.90GHz (Intel Xeon CPU E5-2690 @ 2.90GHz 以上) CPU
最小 RAM 容量	16 GB	16 GB	32 GB	32 GB
アクセス可能な最小ストレージ容量	80 GB	120 GB	120 GB	120 GB
ソフトウェア要件	VMWare vSphere 5.1/5.5	VMWare vSphere 5.1/5.5	VMWare vSphere 5.1/5.5	VMWare vSphere 5.1/5.5



メモ: Virtual Edition のメディアストレージには NFS 構成が必要です。

Capture Server Virtual Edition では、メディアストレージに NFS 共有が必要です。Virtual Edition のメディアストレージには NFS を設定する必要があります。

NFS サーバの設定例は、『Capture Server 入門ガイド』をご参照ください。

既知の問題

本項では、RealPresence Capture Server の本リリースにおける既知の問題を示します。回避策がある問題は、それらも示します。既知の問題のリストは、種類別に構成されています。

管理者ポータル

6279 Windows メディアサーバの VoD リンクは、Chrome または Firefox では機能しません。

回避方法: Internet Explorer を使用します。

エンドポイント録画

4596 Capture Server から RPAD 環境の外部ネットワークにあるエンドポイントにダイヤルインした場合、外部エンドポイントから送信されたコンテンツが表示されません。

回避方法: なし。

インターオペラビリティ

2891 Polycom RMX システムで、SIP または H.323 VSW 会議のライブストリームにレコーディングリンクが使用されている場合、会議の回線速度が 128 kbps、256 kbps、または 384 kbps に設定されていると、会議は常に音声のみの録音となります。

回避方法: 会議の回線速度を、よりに高い速度にします。

4598 Capture Server システムと PRAD 環境の外部ネットワークにあるエンドポイントとの間の通信で、FECC 機能が動作しません。

回避方法: DTMF を使用して、Capture Server システムの録画と再生を制御します。

MCU 録画

2690 SIP プロトコルでは、RMX システムと Capture Server システムとの間で LPR (Lost Packet Recovery) が機能しません。

回避方法: LPR を有効にするには、H.323 プロトコルを使用します。

4892 [メディアの暗号化] を [相手側で暗号化が有効の場合] または [すべての通話に必要] に設定した場合、Polycom RMX の制限のために、Capture Server システムと RMX システム間での音声のみの録音を設定することができません。

回避方法: Capture Server システムの [メディアの暗号化] を [オフ] に設定します。

ポータル

6337 Firefox から Capture Server システムにログインした場合、**[通話]** ページに表示される通話情報は、末尾の番号が長すぎると境界線を超えて表示されます。

回避方法: Internet Explorer か Chrome を使用します。

RAID 10 ハードウェア ストレージ アレイ

3545 故障したハードディスクを、RAID 情報が含まれる使用済みのハードディスクと交換した場合、RealPresence Capture Server は使用済みハードディスクのリカバリを行うことはできません。

回避方法: 新しいハードディスクと取り換えるか、あるいは交換前に Fdisk などのツールで使用済みのハードディスクのパーティションセクタを消去します。

3548 RealPresence Capture Server が実行中に、1 つまたは複数のハードディスクで故障または動作停止が発生した場合でも、管理者ポータルの RAID ステータスは変化せず、正常と表示されたままです。

回避方法: RAID ステータスを無視して、新しいハードディスクと交換します。

録画

5340 暗号化された SIP 通話の場合、会議の録画を制御するために DTMF を使用すると、IVR は聞こえません。

回避方法: なし。

6292 録画が終了する前にコンテンツビデオが停止したときに、コンテンツ停止時に録画ファイルを再生すると、コンテンツビデオの最後の画像が約 10 秒間持続します。

回避方法: なし。

6316 Capture Server で 2 地点録画を実行し、Polycom RealPresence Group Series から RealPresence Desktop へコンテンツをプッシュすると、初回は RealPresence Desktop でコンテンツが表示されません。

回避方法: コンテンツを停止してから再送します。

6335 最大解像度が 1080p、WMV ライブストリーミングのレイアウトがデュアルウィンドウ **[コンテンツ]** (コンテンツが非アクティブな場合は、黒) で、ストリーミングレートが 1024 Kbps 未満の場合、管理者ポータルで WMV レートが正しく表示されません。

回避方法: なし。

6345 2 地点通話で、**[メディアの暗号化]** を一方のエンドポイントで **[すべての通話に必要]** に設定し、もう一方を **[オフ]** に設定すると、**[通話情報の詳細]** の暗号化情報が正しく表示されません。

回避方法: 両方のエンドポイントの **[メディアの暗号化]** を **[相手側で暗号化が有効の場合]** に設定します。

配信プロキシ

6060 大きい VoD ファイル (約 8 時間の録画) を再生する場合、最大 3 分間待つ必要があります。

回避方法: メディアファイルの生成後、約 3 分間待ってから再生します。

SIP

2805 Capture Server システムと BFCP over UDP をサポートする相手側システムとの間の SIP 通話において、コンテンツ録画が失敗します。これは Capture Server では BFCP over TCP 以外、サポートされていないためです。

回避方法: 相手側システムの SIP 通話コンテンツ録画に BFCP over TCP を設定します。

TV UI

6359 Polycom HDX Series と Polycom RealPresence Group Series の内蔵 MCU を使用した会議通話で、会議に最初にダイヤルインしたのが Capture Server だった場合、Capture Server の TV UI に黒画面が表示されます。

回避方法: 内蔵 MCU による会議通話にダイヤルインする場合、Capture Server システムによるダイヤルインが最後になるようにします。

アップグレード

6314 バージョン 1.6 からバージョン 1.7 へのアップグレードを行う場合、アップグレードのタイムアウトというポップアップメッセージが表示されることがあります。

回避方法: このポップアップメッセージを無視し、Capture Server が自動的に再起動するのを待ちます。

6324 Capture Server システムで、.pkg インストーラパッケージをアップロードできないことがあります。

回避方法: システムを再起動してから、アップグレードをやり直します。

ビューアポータル

2832 ごくまれに、構成した外部サーバにアーカイブがアップロードされていないのに、このアーカイブの再生が可能であるとビューアポータルに表示されることがあります。しかし、RealPresence Capture Server が外部サーバにこのアーカイブを見つけられないため、このアーカイブを再生することはできません。

回避方法: Capture Server システムと外部メディアサーバ間の接続が良好であることを確認します。ファイルを回復させるには、外部メディアサーバへのアップロードに失敗したアーカイブファイルを削除して、そのファイルをトランスコードします。これにより、ファイルは、再度、外部メディアサーバにアップロードされます。

Web ポータル

6080 Windows 8 上で Internet Explorer 11 を実行してライブストリーミングまたは VoD を再生した場合、フルスクリーン再生を行うことができません。

回避方法: Firefox または Chrome を使用します。

6090 システムの再起動後に管理者ポータルにログインすると、Capture Server システムは、「ログインしています。お待ちください...」というメッセージを表示し続けます。

回避方法: ページを更新します。

インターオペラビリティの制限

2884 RadVision Scopia XT1000 システムと RealPresence Capture Server 間でライブストリーミングを使用して SIP 通話を行っている間に、RadVision Scopia XT1000 システムが DualVideo (BFCP ベースの人物+コンテンツ) を RealPresence Capture Server に送信すると、RealPresence Capture Server にコンテンツのみが表示されます。

回避方法: SIP 通話の代わりに H.323 通話を使用します。

3291 SIP 通話において、Lifesize Team 220 エンドポイントから RealPresence Capture Server へのコンテンツの送信はサポートされていません。

回避方法: H.323 通話を使用します。

6209 相手側が Radvision XT500 で SIP プロトコルが使用されている場合、録画のコンテンツが表示されません。

回避方法: SIP 通話の代わりに H.323 通話を使用します。

修正された問題

バージョン 1.7 リリースで修正された問題を下表に示します。

管理者ポータル

- 4950** Capture Server システムを再起動した場合、Web ポータルが使用可能になるまでに 10 分かかります。
- 5041** アップグレードパッケージのアップロードが、遅かったりセッションのタイムアウトのために失敗することがあります。
- 5139** **[構成] > [シグナリング設定]** の順に選択した場合、H.323 と SIP の両方のシグナリング設定を一度に保存することができません。
- 5140** メディアストレージ設定を変更し、システムを再起動した場合、管理者ポータルへの最初のログインでは、**[データのバックアップ/復元]** ボタンを使用することはできません。
- 5154** 管理者ポータルには、ログファイルを手動で削除するためのボタンがありません。
- 5185** **[構成] > [診断]** の順に選択し、ホスト名を入力して **[PING]** をクリックすると、「**有効な IP アドレスを入力してください**」という警告メッセージが表示されます。

インターオペラビリティ

- 4994** Polycom VVX 500 と VVX600 のエンドポイントを使用した H.323 通話では、セッションのエンドポイント再生でビデオ映像が表示されません。

インターオペラビリティの制限

- 4491** Android 4.1.2 のシステム制限のため、Android 4.1.2 デバイスで IIS メディアサーバを使用してライブストリーミングと VoD を再生することができません。
- 4925** Cisco C シリーズ、E シリーズおよび Tandberg 880MXP エンドポイントを使用した H.323 通話では、FECC の問題のために、リモコンの上下左右ボタンを使用して録画と再生を制御することができません。
- 5196** Cisco TelePresence システムから RealPresence Capture Server にダイヤルインした場合、TV UI のメニュー画面の下部に黒い線が表示されます。
- 5270** Android 4.1.2 システムで、ライブストリーミングと VoD の再生に失敗することがあります。
- 5422** iOS デバイス (iPhone/iPad) を使用して、1080p の MP4 ファイルに対して Wowza サーバから VoD を再生することはできません。

MCU 録画

- 5177** H.323 通話で暗号化が有効になっている場合、MGC と Capture Server システム間での録画を設定することはできません。

PKI

- 5284** **[構成] > [証明書の管理]** の順に選択し、**[証明書のインストール]** をクリックすると、**[パスワード]** テキストボックスは常に編集できないようになっています。

再生

- 3316** アーカイブの長さが 8 時間を超える場合、初回は再生することができません。



メモ: それぞれの録画を 8 時間未満に制限します。

質の高いビデオ録音を実現するには、それぞれの録画時間を 8 時間未満に制限します。

SIP

- 5011** TLS では、SIP サーバから Capture Server システムの登録を解除することはできません。

システム構成

- 5335** 警告メッセージ (電子メールやアラート) が発信されないように、**[ログ警告容量]** を 70 から 80 に増やしても、警告メッセージが引き続き送られてきます。
- 5341** システム構成をデフォルト値に復元するためにコンソールから `reset config` コマンドを発行した後は、証明書の構成をデフォルト設定に復元することができません。
- 5530** **[構成] > [カスタマイズ] > [IVR メッセージ]** に進み、ウェルカムメッセージとして IVR メッセージをアップロードしても、アップロード後に有効になりません。
- 5667** `/var/tmp` ディスク領域 (最大 40GB) を一時ファイルの `Archivexxx.zip` が使い切ってしまうと、Capture Server システムでソフトウェアのアップグレードをしたり、ログファイルをダウンロードしたりすることができなくなります。一時ファイルの `Archivexxx.zip` は、ユーザがメディアタイプとして **[全体]** を指定してアーカイブファイルをダウンロードすると、毎回生成されます。

トランスコーディング

- 5427** Polycom RealPresence Collaboration Server を使用した録画会議で、Polycom RealPresence Collaboration Server の **[Conference Profiles] > [Video Quality]** の **[Multiple Content Resolutions]** オプションがオンになっていると、Capture Server で録画されたビデオのレイアウトは、Polycom RealPresence Collaboration Server がコンテンツ送信を停止した後も、コンテンツなしのレイアウトに切り替わりません。

ビデオ

5150 解像度 128x96 のアーカイブでは、ビデオ録画のウォーターマークは判読できません。

ビューアポータル

4475 Android 4.2 の携帯電話で、ビューアポータルからライブストリーミングやビデオオンデマンドを再生した場合、[フルスクリーン] ボタンを使用することはできません。

4476 Android 4.2 タブレットで、ビューアポータルからライブストリーミングやビデオオンデマンドを再生した場合、[フルスクリーン] ボタンは機能しません。

5129 Capture Server システム上で通話が進行中に [シグナリング設定] を変更すると、その通話が切断されます。

5358 Capture Server で、小文字 (a-z)、大文字 (A-Z)、数字 (0-9)、および下線 (アンダースコア) の範囲外の文字を使用してユーザアカウントを作成した場合、そのユーザアカウントを使用して管理者ポータルやビューアポータルにログインすることはできません。

5359 128 kbps のライブストリーミングを表示させた場合、メディアプレーヤの再生が停止して、黒い画面が表示されることがあります。

インターオペラビリティ

Polycom RealPresence Capture Server システムは、さまざまな製品との組み合わせで広範にテストされています。以下のリストは、インターオペラビリティのある機器の完全なリストではなく、本システムとのインターオペラビリティテストが完了した製品を示したものです。

Polycom 製品とのインターオペラビリティ (H.323)

表 2 は、H.323 通話を録画する場合の、RealPresence Capture Server と他の Polycom 製品との間のインターオペラビリティを示します。

Polycom 製品とのインターオペラビリティ (H.323)

タイプ	製品	バージョン	
ゲートキーパー、ゲートウェイ、および MCU	Polycom CMA4000/5000	6.2.4, 6.2.5	
	Polycom DMA 7000	6.0.5, 6.1.0	
	Polycom RMX 1000/500	2.5.1	
	Polycom RMX 1000C/500C	2.5.1	
	Polycom RMX 1500/2000/4000	8.3, 8.4	
	Polycom RMX 1800	8.3, 8.4	
	Polycom RMX 800VE	8.3, 8.4	
	Polycom RMX 800S	8.3, 8.4	
	Polycom MGC	9.0.4	
	エンドポイント	Polycom RealPresence Group シリーズ	4.1.3, 4.1.3.2
Polycom HDX シリーズ		3.1.2, 3.1.3	
Polycom VSX シリーズ		9.0.6.1, 9.0.6.2	
Polycom QDX シリーズ		4.0.2, 4.0.3	
Polycom PVX		8.0.16	
Polycom VVX		5.1.1	
CMA Desktop PC/Mac		5.2.4, 5.2.5	
Polycom® Telepresence M100		1.0.6	
Polycom RealPresence Desktop		3.1.1, 3.2	
Polycom RealPresence Mobile (iPad、iPhone4s)		3.1.1, 3.2	
Polycom RealPresence Mobile (Android)		3.1.1, 3.2	
コンテンツ マネジメントシステム		Polycom RealPresence Media Manager	6.6
		Polycom RealPresence Media Editor	6.6

サードパーティ製品とのインターオペラビリティ (H.323)

表 3 は、H.323 通話を録画する場合の、RealPresence Capture Server とサードパーティ製品との間のインターオペラビリティを示します。

サードパーティ製品とのインターオペラビリティ (H.323)

タイプ	製品	バージョン
ゲートキーパー、ゲートウェイ、および MCU	Codian MCU 4505	4.4 (3.57)
	Cisco VCS	X7.2.2
エンドポイント	RadVision Scopia XT1000	02.05.0416
	Tandberg Edge95 MXP	F9.3.1
	SONY PCS-G50	2.72
	SONY PCS-XG80	2.41
	Cisco EX90	7.0.1
	Sony PCS -1	3.42
	Tandberg MXP 770	FC7.3.1
	Tandberg C20	Tc2.1.2
外部メディアサーバ	Wowza	3.5.0
	IIS メディアサービス	4.1
	Windows メディアサーバ	9.6
	AKAMAI	最新

Polycom 製品とのインターオペラビリティ (SIP)

表 4 は、SIP 通話を録画する場合の、RealPresence Capture Server と他の Polycom 製品との間のインターオペラビリティを示します。

Polycom 製品とのインターオペラビリティ (SIP)

タイプ	製品	バージョン
ゲートキーパー、ゲートウェイ、および MCU	Polycom DMA	6.0.5, 6.1.0
	Polycom RMX 1000/500	2.5.1
	Polycom RMX 1000C/500C	2.5.1
	Polycom RMX1500/2000/4000	8.3, 8.4
	Polycom RMX 1800	8.3, 8.4
	Polycom RMX 800VE	8.3, 8.4
	Polycom RMX 800S	8.3, 8.4
	エンドポイント	Polycom HDX シリーズ
Polycom VVX		5.1.1
Polycom PVX		8.0.16
Polycom RealPresence Group シリーズ		4.1.3, 4.1.3.2
Polycom RealPresence Desktop		3.1.1, 3.2
Polycom RealPresence Mobile (iPad、iPhone4s)		3.1.1, 3.2
Polycom RealPresence Mobile (Android)		3.1.1, 3.2

サードパーティ製品とのインターオペラビリティ (SIP)

表 5 は、SIP 通話を録画する場合の、RealPresence Capture Server とサードパーティ製品との間のインターオペラビリティを示します。

サードパーティ製品とのインターオペラビリティ (SIP)

タイプ	製品	バージョン
SIP サーバ、ゲートウェイ、および MCU	Codian MCU 4505	4.4 (3.57)
	Cisco VCS	X7.2.2
エンドポイント	SONY PCS-G50	2.72
	SONY PCS-XG80	2.41
	Cisco EX90	7.0.1
	Tandberg Edge95 MXP	F9.3.1
	LifeSize Team 220	4.12.0 (30)
	RadVision Scopia XT1000	2.5.416

ポートの使用方法

表 6 は、RealPresence Capture Server のポートの使用方法を示します。

ポートの使用方法

用途	タイプ	ポート範囲	
http	TCP	80 (IPv4 の場合のみ)、8080	
https	TCP	443 (IPv4 の場合のみ)、8443	
Trace (テクニカルサポート専用)	UDP	60001 (設定変更可能)	
SMTP	TCP	25	
	UDP	6970 - 6971	
ストリーミング (RTSP、HLS、SSTR)	TCP	1640 (設定変更可能)	
	UDP	6970 - 6971	
シグナリング/メディア	RAS	UDP	1719
	Q.931 ソケット	TCP	1720
	H.245 ソケット	TCP	10000~10199 (設定変更可能)

用途	タイプ	ポート範囲
	音声/ビデオデータ	UDP 20000~20999 (設定変更可能)
	SIP	TCP 20000~20049 (設定変更可能)
	BFCP	UDP 10000~10049 (設定変更可能)
外部メディアサーバ	Wowza	1935
	IIS メディアサービス	80
	Windows メディアサービス	80/554
	AKAMAI	1935

マルチユーザログインの容量

管理者ポータルログインおよびビューアポータルログインの最大数(匿名ログインを含む)を下記に示します。

- 管理者ポータルログイン: 最大 200。
- ビューアポータルログイン: 最大 3000。

サポートされているメディアプレーヤのプラグイン

次表は、サポートされているメディアプレーヤのプラグインを示します。

サポートされているメディアプレーヤのプラグイン

オペレーティングシステム	メディアプレーヤのプラグイン名	メディアプレーヤのバージョン	MP4
Windows Internet Explorer 9、 Internet Explorer 10、 Internet Explorer 11、 Chrome 34、Chrome35、 Firefox 29、Firefox 30	Microsoft SilverLight	5.1.30214.0	サポート対象
MAC Safari 7.5、Chrome 34、 Chrome 35、Firefox 29、 Firefox 30	Microsoft SilverLight	5.1.30317.0	サポート対象

サポートされている外部メディアサーバ

次表は、サポートされている外部メディアサーバを示します。

サポートされている外部メディアサーバ

サーバ名	バージョン	デフォルトポート	ライブストリーミング	ビデオオンデマンド
IIS メディアサーバ	4.1	80	サポート対象。 Windows、Mac OS、および IOS でサポート	サポート対象。Windows と Mac OS でサポート
Wowza メディアサーバ	3.5.2, 4	1935	サポート対象。 Windows、Mac OS、IOS、および Android OS でサポート	サポート対象。Windows、Mac OS、IOS、および Android OS でサポート
Windows メディアサーバ	9.6	80/554	サポート対象。Windows OS でサポート	サポート対象。Windows OS でサポート

サポートされている Web ブラウザ

サポートされている Web ブラウザを下表に示します。

サポートされているブラウザ

オペレーティングシステム	ブラウザ名	バージョン
PC (Windows 7 および Windows 8)	Internet Explorer	9, 10, 11
	Firefox	30, 31
	Chrome	35, 36
MAC OS-X (Intel ベースの Leopard、Snow、および Lion)	Safari	7.0.5
	Firefox	30, 31
	Chrome	35, 36
iOS (iPad 2/3/4/mini、iPhone 5/5S)	Safari	7.1.2
		7.1.1

オペレーティングシステム	ブラウザ名	バージョン
Android 4.1.2/4.2/4.3、携帯電話およびタブレット	Android ブラウザ	4.1.2, 4.3

Copyright © 2014, Polycom, Inc. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、その形態や、電子的または機械的などの手段、または目的を問わず、Polycom, Inc. の書面による許可を受けずに複製または転送することを禁止します。法律によって、他の言語への翻訳および他のフォーマットへの変換も複製とみなされます。

6001 America Center Drive
San Jose, CA 95002USA

商標



Polycom®, Polycom ロゴ、および Polycom 社製品に関連する製品名およびマークは、Polycom, Inc. の商標および (または) サービスマークであり、米国およびその他の国における登録商標および (または) 慣習法で認められたマークです。他のすべての商標や著作権は、それぞれの会社が所有しています。この文書のいかなる部分も、Polycom の書面による許可を受けずに、受領者の個人的な使用を除くいかなる目的でも、その形式または方法を問わず、複製または転送することを禁じます。

使用許諾契約書

本ソフトウェアを使用するには、Polycom RealPresence Capture Server のエンドユーザ使用許諾契約 (EULA) の条項および条件に同意する必要があります。

お使いのバージョンのエンドユーザ使用許諾契約は、Polycom RealPresence Capture Server の Polycom Support ページをご参照ください。

特許情報

付随製品は、米国および諸外国の 1 つ以上の特許権によって保護されているか、Polycom, Inc. による特許申請中として保護されています。

本製品で使用されているオープンソースのソフトウェア

本製品には、オープンソースソフトウェアが含まれる場合があります。ソフトウェアの送付や配布にかかる費用以外は無償で、該当する製品またはソフトウェアの配布日から最大 3 年間、ポリコムからオープンソースソフトウェアを受け取ることができます。ソフトウェアに関する情報、および本製品で使用されているオープンソースのソフトウェアのコードをご希望の場合は、Polycom まで電子メール (OpenSourceVideo@polycom.com) にてお問い合わせください。

免責事項

Polycom は本書に掲載されている情報が正確かつ最新であるよう万全を期しておりますが、情報の正確性を保証または表明することはありません。Polycom は、本書のコンテンツにおけるタイプミス、その他のエラー、または削除について何ら責任を負いません。

責任の制限

Polycom およびその供給者は、いかなる目的でも、本書に掲載される情報の適合性について表明することはありません。情報は、現状のまま提供されるものであり、いかなる種類の保証もないものとします。本書の情報は予告な

しに変更されることがあります。使用される際のリスクは、すべてお客様が負担するものとします。Polycom またはその供給者は、いかなる直接的、結果的、偶発的、特殊、懲罰的、またはその他の損害 (営業収益の損失、業務の中断、業務情報の消失を含むが限定されない) の責任を、前述の損害の可能性について知らされていた場合であっても、一切負わないものとします。

お客様からのご意見

当社では、マニュアルの品質向上に取り組んでおります。お客様からのご意見をぜひお聞かせください。ご意見やご感想は電子メールにて DocumentationFeedback@polycom.com までお送りください。



エンドユーザ使用許諾契約、ソフトウェアのダウンロード、製品マニュアル、製品ライセンス、トラブルシューティングのヒント、サービス要請などについては、[Polycom Support Center](#) をご参照ください。